

小海町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口 (R7年1月1日)	歳 出 額 A	実質収支	人 件 費 B	人件費率 B / A	(参考) R5年度の 人件費率
R6年度	4,196人	4,527,501千円	324,811千円	852,504千円	18.8%	18.2%

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

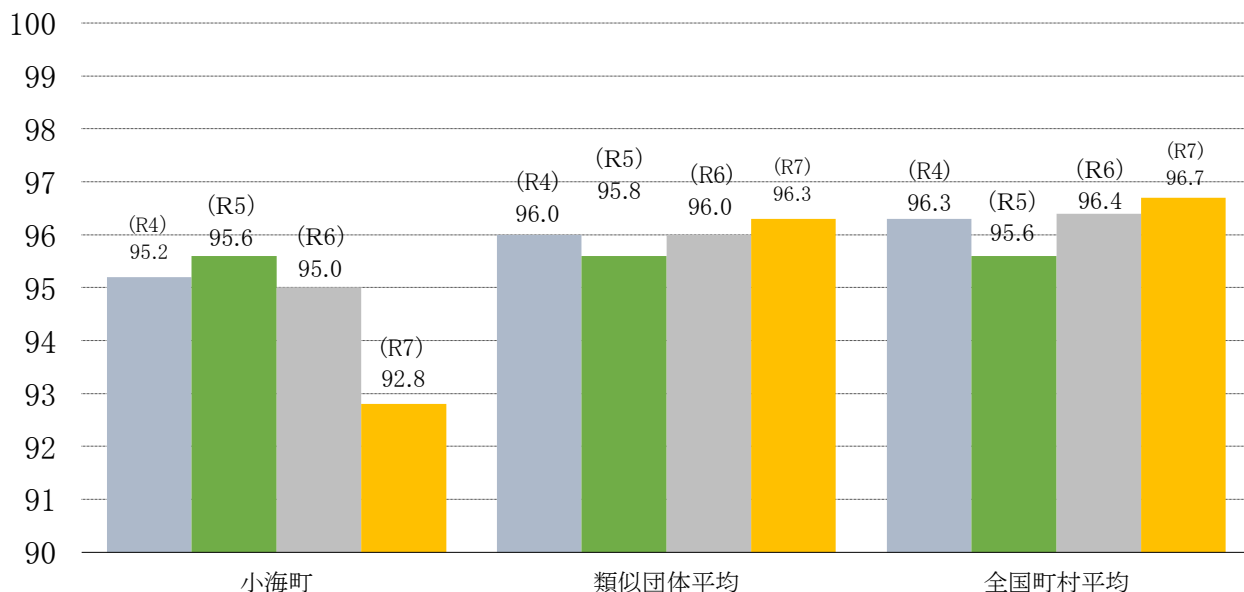
区 分	職員数 A	給 与 費				(参考)一人当 たり給与費 B / A	(参考)類似団 体平均一人当 たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
R6年度	68人	千円 246,251	千円 25,335	千円 94,721	千円 366,307	千円 5,411	千円 5,732

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数については、R 6 年 4 月 1 日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）、定年前再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

(3) ラスパイレス指数の状況



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

3 ラスパイレス指数（地域手当補正後ラスパイレス指数を含む）の算出に当たっては、60歳に達した日後の最初の4月1日以後に支給される給料月額について、本来の給料月額の7割水準に設定される職員を除いている。

※ R7年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

この欄の記載はありません。

(4) 給与改定の状況 ※人事委員会を設置していないためこの欄の記載はありません。

①月例給

区 分	人事委員会の勧告				給与改定率	(参考) 国の改定率
	民間給与 A	公務員給与 B	較差 A－B	勧告 (改定率)		
年度	円	円	円 (%)	%	%	%

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

②特別給（期末・勤勉手当）

区 分	人事委員会の勧告				年間支給月数	(参考) 国の年間 支給月数
	民間の支給 割合 A	公務員の 支給月数 B	較差 A－B	勧告 (改定月数)		
年度	月	月	月	月	月	月

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国家公務員給与においては、行政職俸給表(一)において3級から7級までの初号近辺の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額の引上げを行うとともに、8級から10級の隣接する級間での俸給月額の重なりを解消等を行っている。その他、各種手当について見直しを行っている。

①給料表の見直し

[**実施** 未実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）令和 7 年 4 月 1 日（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、3 級から 6 級までの初号近辺の号給をカットし、これらの級の初号の給料月額の引上げを実施。

②地域手当の見直し ※地域手当が無い場合この欄の記入はありません。

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

③その他の見直し内容

扶養手当、通勤手当、管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。
（令和 7 年 4 月 1 日実施）

(6) 特記事項

その他の給与抑制措置として、55 歳以上昇給停止を行っています。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（R 7 年 4 月 1 日現在）

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
小海町	39.4歳	280,861円	298,496円	円
長野県	44.8歳	336,600円	405,603円	369,759円
国	41.9歳	—	—	414,480円
類似団体	41.3歳	312,088円	356,051円	342,249円

②技能労務職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
小海町	58.2歳	367,900円	376,400円	円
国	51.3歳	294,567円	—	337,907円
類似団体	49.3歳	293,189円	324,478円	310,165円

（注）1 「平均給料月額」とはR6年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（R 7 年 4 月 1 日現在）

区 分		小 海 町	長 野 県	国
一般行政職 技能労務職 行政職給料表（一）	大 学 卒	220,000円	230,500円	220,000円
	高 校 卒	188,000円	198,700円	188,000円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（R 7 年 4 月 1 日現在）

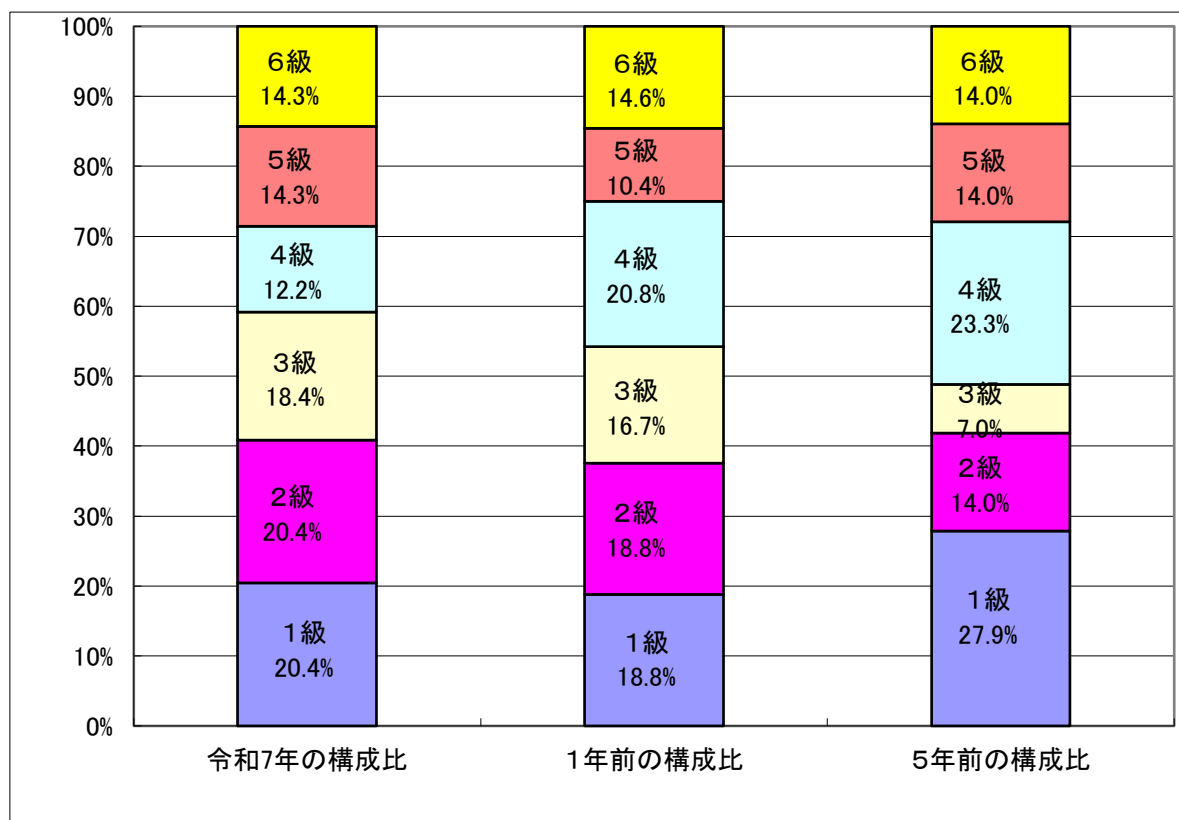
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	276,500円	337,800円	該当なし	390,300円
	高 校 卒	224,300円	該当なし	該当なし	該当なし

3 一般行政職の級別職員数等の状況

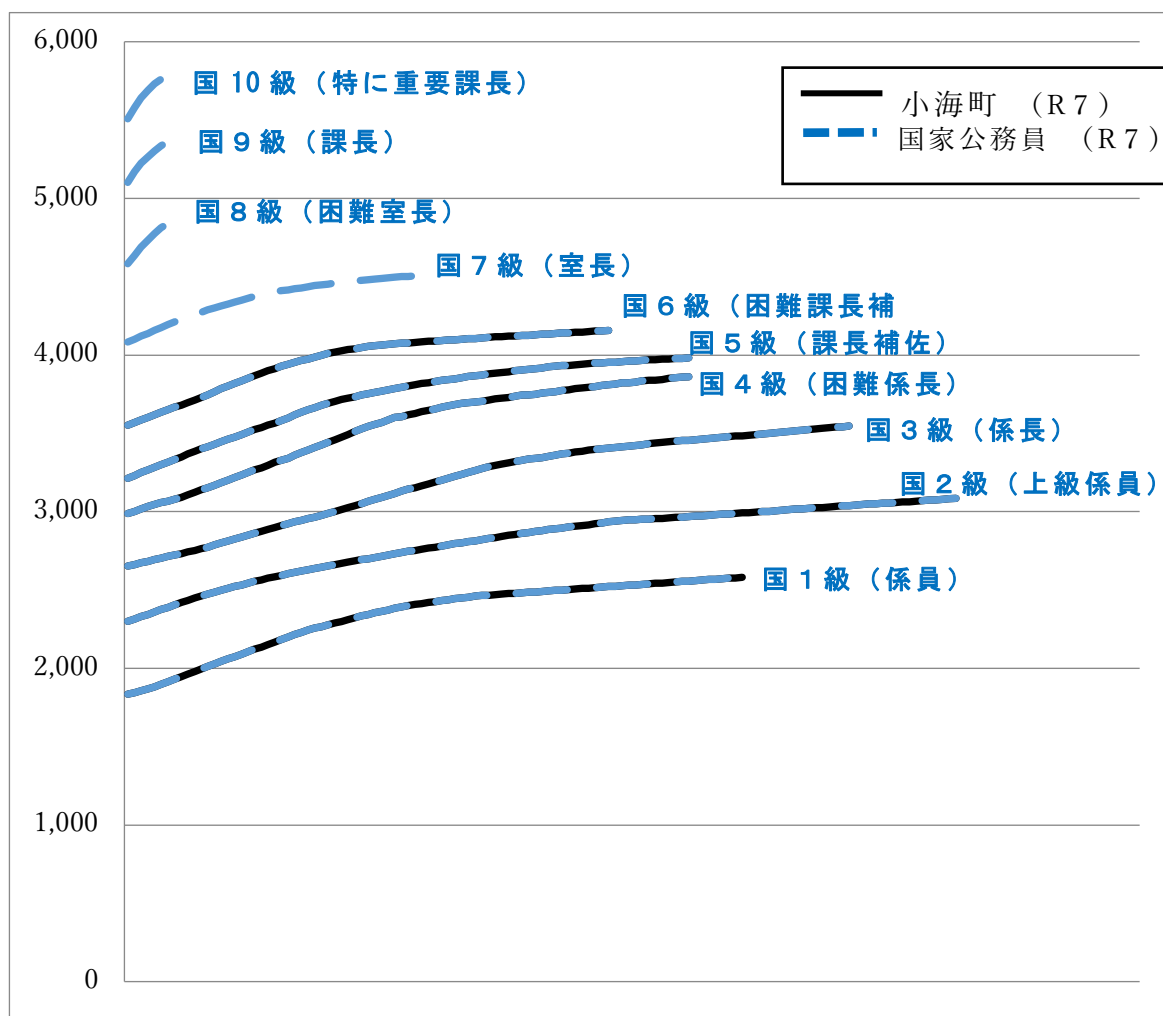
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（R 7 年 4 月 1 日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の 給料月額	最高号給の 給料月額
1 級	主事の職務	10 人	20.4 %	183,500 円	258,100円
2 級	主任の職務	10 人	20.4 %	230,000 円	308,500円
3 級	主査の職務	9 人	18.4 %	265,000 円	354,700円
4 級	係長の職務	6 人	12.2 %	298,800 円	386,100円
5 級	課長補佐の職務	7 人	14.3 %	321,300 円	398,200円
6 級	課長の職務	7 人	14.3 %	355,200 円	415,700円

- (注) 1 小海町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（R 7 年 4 月 1 日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（一般行政職）（小海町）

令和 7 年度中における運用		管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している		○		○	
活用している昇給区分		昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の区分		○		○	
上位、標準の区分					
標準、下位の区分					
標準の区分のみ（一律）			○		○
ロ. 人事評価を活用していない					
活用予定時期					

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

小 海 町	長 野 県	国
1人当たり平均支給額（R6年度） 1,504千円	1人当たり平均支給額（R6年度） 1,796千円	—
（R6年度支給割合） 期末手当 勤勉手当 2.50月分 2.10月分 （1.40）月分 （1.0）月分	（R6年度支給割合） 期末手当 勤勉手当 2.50月分 2.10月分 （1.40）月分 （1.0）月分	（R6年度支給割合） 期末手当 勤勉手当 2.50月分 2.10月分 （1.40）月分 （1.0）月分
（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5-15%	（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5-20% ・管理職加算15-25%	（加算措置の状況） 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5-20% ・管理職加算10-25%

（注）（ ）内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況（一般行政職）（小海町）

令和6年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	支給可能な 成績率	支給実績が ある成績率	支給可能な 成績率	支給実績 がある成 績率
上位、標準、下位の成績率	○		○	
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ（一律）		○		○
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2) 退職手当（R7年4月1日現在）

小 海 町	国
（支給率） 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分 勤続25年 28.0395月分 33.27075月分 勤続35年 39.7575月分 47.709月分 最高限度額 47.709月分 47.709月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2-20%) 1人当たり平均支給額 11,193千円	（支給率） 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分 勤続25年 28.0395月分 33.27075月分 勤続35年 39.7575月分 47.709月分 最高限度額 47.709月分 47.709月分 その他の加算措置 定年前早期退職特例措置（2%-45%加算）

（注）1 退職手当の1人当たり平均支給額は、R6年度に退職した職員に支給された平均額である。

2 「応募認定・定年」のうち「定年」には、定年退職及び定年引上げ前の定年年齢に達した日以後その者の非違によることなく退職した場合を含む。

(3) 地域手当 ※なし

支 給 実 績 (○年度決算)			千 円
支給職員1人当たり平均支給年額 (○年度決算)			円
支給対象地域	支給割合	支給対象職員数	国の制度(支給割合)
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%
	%	人	%

(4) 特殊勤務手当 ※なし

支給実績 (○年度決算)			千 円
支給職員1人当たり平均支給年額 (○年度決算)			円
職員全体に占める手当支給職員の割合 (○年度)			%
手当の種類 (手当数)			
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (○年度決算) 左記職員に対する支給 単価
〇〇手当			千円 日額〇〇円
〇〇手当			千円 1件当たり〇〇円

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (R 6 年度決算)	8,708 千円
職員1人当たり平均支給年額 (R6年度決算)	158 千円
支給実績 (R 5 年度決算)	8,647 千円
職員1人当たり平均支給年額 (R5年度決算)	166 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績 (R5,6 年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む

(6) 寒冷地手当 (R 7 年 4 月 1 日現在)

支給実績 (R 6 年度決算)		4,674 千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (R 6 年度決算)		64,917 円
支給対象地域	世帯主等の区分	支給額 (月額)
4 級地	世帯主である職員 (扶養親族有)	19,800 円
	世帯主である職員 (扶養親族無)	11,400 円
	その他の職員	8,200 円
国と異なる制度がある場合はその内容と、国の制度を上回る場合はその理由	なし	

(7) その他の手当 (R 7 年 4 月 1 日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	支給実績 R 6 年度決算	支給職員 1 人当たり 平均支給年額 (R 6 年度決算)
扶養手当	配偶者 6,500 円 配偶者以外 6,500 円 子 10,000 円 特定加算 5,000 円	同 じ	6,270 千 円	241,153 円
住居手当	・家賃 27,000 円以下 家賃額 -16,000 円 ・家賃 27,000 円を超え 55,000 円未満 (家賃 - 27,000 円) $\times 1/2 + 11,000$ 円	同 じ	4,046 千 円	224,777 円
通勤手当	2 km - 5 km 2,000 円 5 km - 10 km 4,200 円 10 km - 15 km 7,100 円 15 km - 20 km 10,000 円 20 km - 25 km 12,900 円 25 km - 30 km 15,800 円 30 km - 35 km 18,700 円	同 じ	2,763 千 円	58,787 円
管理職手当	課長 5 %	【国の制度と異なる内容】 ・困難な業務を所轄する課長 25,000 円 ・その他の課長 15,000 円	1,789 千 円	223,625 円

5 特別職の報酬等の状況 (R 7 年 4 月 1 日現在)

区 分		給 料 月 額 等	
給 料	町 長	752,000 円	(参考) 類似団体における最高／最低額
	副 町 長	(752,000 円)	846,800 円 / 528,000 円
	教 育 長	(600,000 円)	677,700 円 / 481,000 円
		(600,000 円)	—
報 酬	議 長	(264,000 円)	400,000 円 / 203,000 円
	副 議 長	(186,000 円)	314,000 円 / 130,000 円
	議 員	(170,000 円)	290,000 円 / 109,000 円
		(170,000 円)	
期 末 手 当	市 区 町 村 長 副 市 区 町 村 長	(R 6 年度支給割合) 3.40 月分	
	議 長 副 議 長 議 員	(R 6 年度支給割合) 3.40 月分	

退職手当				(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	町副教	町育	長長長	在職月方式 在職月方式 在職月方式	15,340,800円 7,315,200円 4,952,160円	任期毎 任期毎 任期毎
	備考					

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年＝48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

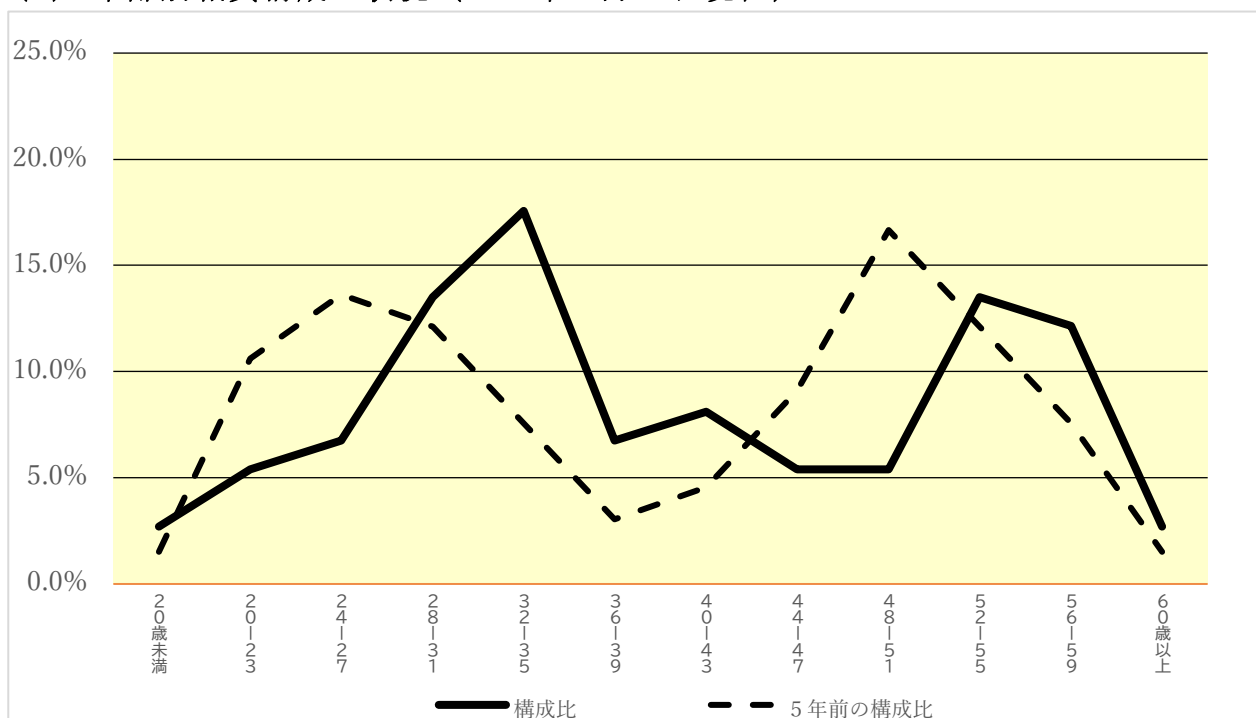
6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

区 分 部 門			職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由
			令和7年	令和6年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	2	2	0	
		総 務	21	23	-2	
		税 務	2	2	0	
		農 林 水 産	4	4	0	
		商 工	5	5	0	
		土 木	2	2	0	
		民 生	22	21	1	
	衛 生	5	5	0		
	計	63	64	-1	< 参 考 > 人口1万人当たり職員数 150.69人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 204.97人)	
	教 育 部 門		4	4	0	
	消 防 部 門					
	小 計	67	68	-1	< 参 考 > 人口1万人当たり職員数 160.11人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 235.95人)	
公 営 企 業 等 部 門	水 道 そ の 他		2 5	2 5	0 0	
	小 計		7	7	0	
合 計			74 [81]	75 [81]	-1	< 参 考 > 人口1万人当たり職員数 176.60人

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（R 7 年 4 月 1 日現在）



区 分	20歳 未満	20歳 ～ 23歳	24歳 ～ 27歳	28歳 ～ 31歳	32歳 ～ 35歳	36歳 ～ 39歳	40歳 ～ 43歳	44歳 ～ 47歳	48歳 ～ 51歳	52歳 ～ 55歳	56歳 ～ 59歳	60歳 以上	計
職員数	2人	4人	5人	10人	13人	5人	6人	4人	4人	10人	9人	2人	74人

(3) 職員数の推移

（単位：人・％）

部門別 \ 年 度	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年	R 7 年	過去 5 年間の増減数 (率)
一般行政	55	57	56	58	64	63	8 (14.5%)
教育	4	4	4	5	4	4	0 (0.0%)
消防							(%)
普通会計計	59	61	60	63	68	67	8 (13.6%)
公営企業等会計計	7	7	7	7	7	7	0 (0.0%)
総合計	66	68	67	70	75	74	8 (12.1%)

（注） 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区 分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B / A	(参考) R 5 年度の総費用に占 める職員給与費比率
R 6 年度	千円 90,171	千円 4,736	千円 13,331	% 14.8	% 12.5

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)市町村平均 一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
R 6 年度	人 2	千円 6,788	千円 197	千円 2,738	千円 9,723	千円 4,862	6,316千円

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数については、R 6 年 4 月 1 日現在の人数である。
3 職員数及び給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員を含み、会計年度任用職員を含まない。

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況（R 7 年 4 月 1 日現在）

区 分	平均年齢	基本給	平均月収額
小 海 町	41.1 歳	297,150円	301,700円
類似団体平均 (水道事業)	45.8 歳	345,838円	524,813円

- (注) 1 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。
2 平均年齢の団体平均は、会計年度任用職員を含んで算出している。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

企業会計	小海町
1人当たり平均支給額（R 6 年度） 1,593千円	1人当たり平均支給額（R 6 年度） 1,369千円
(R 6 年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50月分 2.10月分 (1.40)月分 (1.0)月分	(R 6 年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50月分 2.10月分 (1.40)月分 (1.0)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5-15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5-15%

- (注) ()内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（Ｒ７年４月１日現在）

企 業 会 計	小 海 町
小海町に準ずる	（支給率） 自己都合 応募認定・定年
	勤続２０年 19.6695月分 24.586875月分
	勤続２５年 28.0395月分 33.27075 月分
	勤続３５年 39.7575月分 47.709 月分
	最高限度額 47.709 月分 47.709 月分
	その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2-20%)
1人当たり平均支給額 千円 千円	1人当たり平均支給額 4,869千円

ウ 地域手当※なし

エ 特殊勤務手当※なし

オ 時間外勤務手当

支給実績（Ｒ６年度決算）	391	千円
職員1人当たり平均支給年額(Ｒ6年度決算)	196	千円
支給実績（Ｒ５年度決算）	408	千円
職員1人当たり平均支給年額(Ｒ5年度決算)	204	千円

（注）１ 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

２ 職員１人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（Ｒ5,6年度決算）」と同じ年度の４月１日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（Ｒ７年４月１日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異動	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 (Ｒ６年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (Ｒ６年度決算)
扶養手当	一般行政職参照	同じ		0 千円	0 円
住居手当	一般行政職参照	同じ		0 千円	0 円
通勤手当	一般行政職参照	同じ		109 千円	54,600 円
管理職手当	一般行政職参照	同じ		千円	円